

平成19年12月28日
 発行 (財)茨城県体育協会
 〒310-0911 水戸市見和1-356-2
 茨城県水戸生涯学習センター分館内
 TEL 029(226)9972
 FAX 029(226)9973
 E-mail: ibarakiken@japan-sports.or.jp
 U R L : http://www.ibaraki-sports.or.jp/



第62回 国民体育大会特集
5種目 優勝 天皇杯25位 (907.0点)

第62回国民体育大会本大会開会式



第62国民体育大会を終えて

財団法人 茨城県体育協会 会長 角田 芳夫

平素より、本県スポーツの普及・振興並びに本協会の諸事業に対し多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

国民体育大会は、国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚し健康増進と体力向上への意欲を高めるとともに、お互いに競い、ふれ合い、そして讃え合う機会を提供して人々の連帯感を強めて参りました。これが県勢発展の力となり、経済活動の活性化と豊かな郷土づくりに貢献してきたと感じております。

昭和36年に秋田県で開催されました第16回国民体育大会は、地元秋田県民の心温まる歓迎と運営から「まごころ国体」と称され、多くの参加者から賞賛されましたが、46年ぶり2度目となる第62回国民体育大会も、前回の精神を受け継ぎ、「秋田わか杉国体」と称し「かざらない秋田弁」で温かく迎えてくれるなど、「秋田の心」が伝わるすばらしい大会でありました。

さて、本県の成績は、天皇杯25位と昨年の39位を挽回し、年度当初に掲げました目標である天皇杯得点900点以上、20位台前半をほぼ達成することが出来ました。特にゴルフ競技では、昭和59年第39回奈良国体での、サッカー、セーリング競技の総合優勝以来23年ぶりの快挙を成し遂げました。

今年度の成果は、ひとえに各加盟競技団体並びに各市町村体育協会をはじめとする、多くの方々のご支援、ご協力の賜であり、厚くお礼を申し上げます。本協会としましても、この機会を1つの節目とし、今後一定水準の競技力を維持していくための選手強化策等に対し支援をして参る所存でございます。

最後に、各大会に参加していただきました選手、監督をはじめ、関係の皆様にご心よりお礼を申し上げますとともに、今後、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第62回国民体育大会総評

財団法人 茨城県体育協会 専務理事 柳田 昌秀

第62回国民体育大会は、秋田で開催された本大会をもって終了し、天皇杯成績25位907点を獲得し、昨年の39位784.5点を上回る大会となりました。

この成績は、昨年とほぼ同様の選手団及び競技数であることを考えると、出場した監督・選手が昨年の悔しさをバネに、新たに「燃やせ 輝け 茨城魂！」のスローガンを掲げ、茨城県代表として、1人ひとりが一戦一戦を大事に戦い抜いたものと推察し、その熱意と努力に対し、深く感謝を申し上げる次第であります。

今大会を振り返りますと、冬季大会ではスピードスケート競技成年において、1500m出島茂幸選手の1位、3000m松田有幾選手の3位をはじめ50点を獲得し、アイスホッケー競技少年においては、強豪の北海道に惜敗はしたものの堂々の4位35点を獲得し、スケート、アイスホッケー競技において天皇杯総合成績15位というすばらしい成績を残していただきました。

本大会の団体競技においては、ゴルフ成年男子が優勝、少年男子が準優勝を収めるとともに、ゴルフ競技として初の総合優勝を果たしたのをはじめ、フェンシング成年男子が準優勝、卓球成年女子が3年連続の3位、相撲競技少年男子・剣道競技成年女子が4位と健闘していただきました。

また、公開競技である高等学校野球競技(軟式)に出場した茗溪学園高校の優勝というすばらしい成績も納めていただきました。

個人においては、レスリング競技の成年 稲葉泰弘選手・少年 生天目達也選手・森内翔馬選手・小俣涼平選手の優勝をはじめ、陸上競技 川崎真裕美・水泳競技(競泳)成年男子30歳以上 田沢春彦選手・成年女子飛込 田辺佐央理選手・少年男子ボクシング競技 藤田孝洋選手・少年男子ウエイトリフティング競技(スナッチ、ジャーク) 加勢知寛選手・空手道競技 少年女子 深作世里乃選手が準優勝、少年男子レスリング競技 倉持祐貴選手・空手道競技 成年男子 栗原一晃選手・セーリング競技 少年男子 小又友和選手・宮崎俊介選手が3位と健闘を見せていただきました。

今後これらの成績を分析し、短期的には、継続的に得点の獲得できる競技種別・種目を指定するとともに、中・長期的には、小・中・高・一般の連携の中で選手強化・育成が実現するような選手強化の拠点づくりや指導者の育成を推進するため、各競技団体はもとより、企業・地域・大学と更なる協力体制を深め、併せて県教育委員会と連携を図りながら、県のスポーツ振興に全力で取り組んでいきたいと考えております。

最後に、大会に参加されました選手監督の皆様には、心から感謝申し上げますとともに、関係者の皆様のますますのご活躍を祈念申し上げます。

会 場 及 び 総 合 成 績

1 会 場

- ・ 冬 季 大 会 (スケート・アイスホッケー・・・群馬県) (スキー・・・秋田県)
- ・ 本 大 会 (秋田県)

2 得 点

- ・ 男 女 総 合 (天皇杯) 成 績 《得点》 907.0 点 【 25 位】
- ・ 女 子 総 合 (皇后杯) 成 績 《得点》 428.5 点 【 37 位】

3 男 女 総 合 (天皇杯) 得 点 内 訳

大会区分	競技得点	参加点	天皇杯得点	順 位
冬季大会	55.0	30.0	85.0	15 位
本大会	452.0	370.0	822.0	28 位
計	507.0	400.0	907.0	25 位

女 子 総 合 (皇后杯) 得 点 内 訳

大会区分	競技得点	参加点	皇后杯得点	順 位
冬季大会	21.0	20.0	41.0	15 位
本大会	107.5	280.0	387.5	37 位
計	128.5	300.0	428.5	37 位

4 各 季 大 会 競 技 得 点 内 訳 及 び 競 技 順 位

男 女 総 合 成 績 競 技 別 一 覧

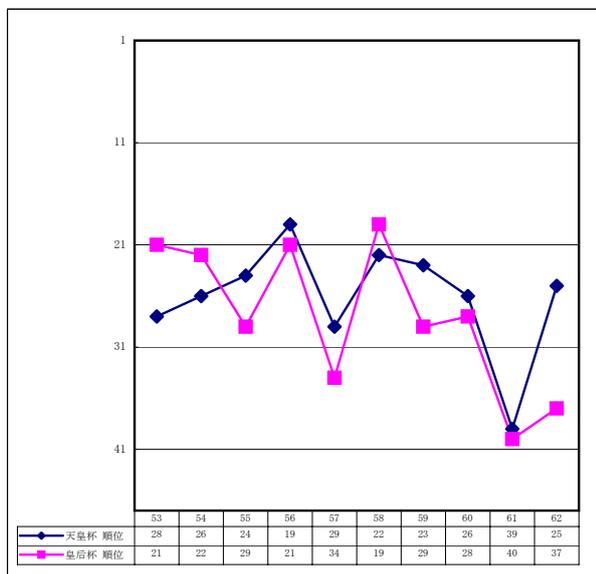
No.	季	競 技 名	競 技 得 点	競 技 別 順 位
1	本	ゴ ル フ	45.0 点	1 位
2	本	レ ス リ ン グ	42.5 点	4 位
3	本	相 撲	25.0 点	6 位
4	冬	ア イ ス ホ ッ ケ ー	25.0 点	6 位
5	本	空 手 道	20.5 点	7 位
6	本	ク レ ー 射 撃	12.0 点	8 位
7	本	剣 道	27.5 点	9 位
8	本	ハ ン ド ボ ー ル	37.5 点	10 位
9	本	フ ェ ン シ ン グ	30.0 点	10 位
10	本	卓 球	16.5 点	10 位
11	本	セ ー リ ン グ	21.0 点	11 位
12	本	軟 式 野 球	32.0 点	13 位
13	本	ラ イ フ ル 射 撃	22.0 点	14 位
14	冬	ス ケ ー ト (ス ピ ー ド)	30.0 点	15 位
15	本	水 泳	29.0 点	20 位
16	本	弓 道	18.0 点	20 位
17	本	ボ ー ト	10.0 点	22 位
18	本	ボ ク シ ン グ	9.5 点	22 位
19	本	ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ	24.0 点	23 位
20	本	陸 上 競 技	28.0 点	30 位
21	本	馬 術	2.0 点	35 位
小計			507.0 点	
		他 19 競技	0 点	
合計		40 競技	507.0 点	

女 子 総 合 成 績 競 技 別 一 覧

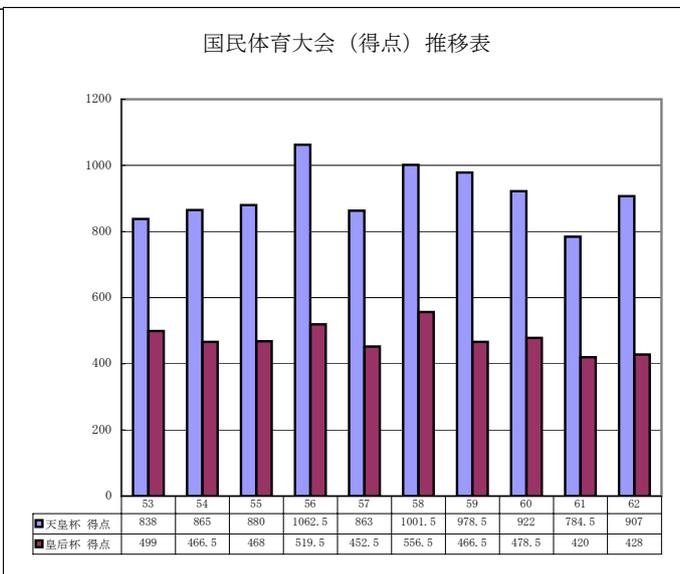
No.	季	競 技 名	競 技 得 点	競 技 別 順 位
1	本	卓 球	16.5 点	6 位
2	本	剣 道	15.0 点	6 位
3	本	空 手 道	9.5 点	6 位
4	本	ラ イ フ ル 射 撃	17.0 点	8 位
5	本	ハ ン ド ボ ー ル	12.5 点	9 位
6	冬	ス ケ ー ト (ス ピ ー ド)	21.0 点	12 位
7	本	陸 上 競 技	25.0 点	16 位
8	本	水 泳	9.0 点	20 位
9	本	弓 道	3.0 点	20 位
小計			128.5 点	
		他 21 競技	0 点	
合計		30 競技	128.5 点	

5 国 民 体 育 大 会 過 去 10 年 間 の 成 績 (順 位 ・ 得 点) 推 移

国 民 体 育 大 会 成 績 (順 位) 推 移 グ ラ フ



国 民 体 育 大 会 成 績 (得 点) 推 移 グ ラ フ



入 賞 者 一 覧

《本大会》

順位	競技名	種 別	種 目	氏 名	所 属
1 位	スケート (スピード)	成年男子	1 5 0 0 m	出 島 茂 幸	㈱開発計画研究所
3 位		成年女子	3 0 0 0 m	松 田 有 幾	太平洋物産㈱
4 位		成年女子	2 0 0 0 m R	堀田 紘, 堀田 美, 大松, 松田	茨城選抜
4 位	アイスホッケー	少年男子			水戸短大附属高校
5 位	スケート (スピード)	成年女子	1 5 0 0 m	松 田 有 幾	太平洋物産㈱
6 位		成年女子	1 5 0 0 m	大 松 由 香 利	水戸市立堀原小教
6 位		成年女子	1 0 0 0 m	堀 田 紘 路	太平洋物産㈱
8 位		成年男子	5 0 0 0 m	出 島 茂 幸	㈱開発計画研究所

《本大会》

順位	競技名	種 別	種 目	氏 名	所 属
1 位	レスリング	成年男子	フリー 5 5 k g 級	稲 葉 泰 弘	専修大学
1 位	レスリング	少年男子	フリー 6 6 k g 級	生 天 目 達 也	霞ヶ浦高校
1 位	レスリング	少年男子	フリー 1 2 0 k g 級	森 内 翔 馬	霞ヶ浦高校
1 位	レスリング	少年男子	グレコ 5 5 k g 級	小 俣 涼 平	霞ヶ浦高校
1 位	ゴルフ	成年男子	団体	館, 岡部, 永野	茨城選抜
2 位		少年男子	団体	近藤, 前栗蔵, 大槻	茨城選抜
2 位	陸上競技	成年女子	1 0 0 0 0 m 競歩	川 崎 真 裕 美	海老澤製作所
2 位	水泳 (競泳)	成年男子	自 5 0 m	田 沢 春 彦	水戸市役所
2 位	水泳 (飛込)	成年女子	飛板飛込	田 辺 佐 央 理	日本大学
2 位	ボクシング	少年男子	ウェルター級	藤 田 孝 洋	那珂高校
2 位	ウエイトリフティング	少年男子	7 7 k g 級 スナッチ	加 勢 知 寛	磯原高校
2 位			7 7 k g 級 ジャーク		
2 位	フェンシング	成年男子	団体サーブル	永野広, 坂本, 広瀬	茨城選抜
2 位	空手道	少年女子	形	深 作 世 里 乃	水城高校
3 位	セーリング	少年男子	セーリング スピリット級	小 又・宮 崎	霞ヶ浦高校
3 位	レスリング	少年男子	フリー 5 0 k g 級	倉 持 祐 貴	霞ヶ浦高校
3 位	卓球	成年女子	団体	野中, 河村, 馮	茨城選抜
3 位	空手道	成年男子	形	栗 原 一 晃	(社) 日本空手協会
4 位	陸上競技	成年女子	5 0 0 0 m	赤 石 久 美	日立製作所
4 位	相撲	少年男子	団体		東洋大学附属高校
4 位	弓道	成年男子	近的	石田, 小沼, 池田	茨城選抜
4 位	ライフル射撃	成年男子	5 0 m P 6 0 M	川 村 昌 弘	友部病院
4 位	ライフル射撃	成年女子	1 0 m S 4 0 W	田 邊 美 奈 子	茨城県ライフル射撃協会
4 位	ライフル射撃	成年女子	B R S 4 0 W	高 田 麻 衣	早稲田大学
4 位			B R T 6 0 W		
4 位	剣道	成年女子	団体	粉川, 川上, 中澤	茨城選抜
5 位	陸上競技	少年女子 B	2 0 0 m	福 田 智 美	竜ヶ崎第一高校
5 位	水泳 (競泳)	成年男子	2 0 0 m メドレーリレー		茨城選抜
5 位	ボクシング	少年男子	フライ級	根 本 匠	高萩清松高校
5 位	レスリング	成年男子	フリー 6 0 k g 級	大 澤 茂 樹	山梨学院大学
5 位	レスリング	少年男子	グレコ 7 4 k g 級	松 岡 聖 己	鹿島学園高校
5 位	ウエイトリフティング	成年男子	6 9 k g 級 ジャーク	坂 祐 哉	茨城県ウエイトリフティング協会
5 位	ハンドボール	成年男子	団体		茨城選抜
5 位	ハンドボール	成年女子	団体		茨城選抜
5 位	ハンドボール	少年男子	団体		藤代紫水高校
5 位	軟式野球	成年	団体		オール東海
5 位	剣道	少年男子	団体	中山, 高島, 小岸, 高山, 西川	茨城選抜
5 位	空手道	成年男子	組手	平 山 真 也	取手市空手道連盟
5 位	空手道	成年女子	組手	前 嶋 小 百 合	世田谷区立赤堤小学校
5 位	空手道	少年男子	組手	染 谷 隆 嘉	東洋大学附属牛久高校
5 位	クレ射撃	成年	トラップ	中山, 飯田, 渋澤	茨城選抜
6 位	陸上競技	成年女子	1 0 0 m	須 田 紗 織	日本体育大学
6 位	陸上競技	少年女子 B	1 0 0 m H	雨 谷 若 菜	並木中学校
6 位	セーリング	成年男子	国体ウインドサーフィン級	上 野 惇 史	青山学院大学
6 位	フェンシング	成年男子	団体エペ	永野義, 永野広, 坂本, 広瀬	茨城選抜
7 位	陸上競技	少年女子 A	円盤投	日 下 望 美	土浦湖北高校
7 位	陸上競技	成年男子	4 × 1 0 0 m リレー		茨城選抜
7 位	水泳 (競泳)	成年男子	背 5 0 m	梶 田 耕 生	東京海上日動火災(株)
7 位	水泳 (競泳)	成年男子	自 1 0 0 m	日 原 将 吾	中央大学
7 位	水泳 (飛込)	少年男子 A	背 2 0 0 m	加 藤 由 浩	岩瀬日大高校
7 位		成年男子	高 飛 込	大 内 嘉 之	筑波大学
7 位	ボート	成年男子	舵手つきフォア	佐 藤・蜂 谷 橋 本・萩 野 兼 平・宮 越	茨城選抜
7 位	ウエイトリフティング	少年男子	6 2 k g 級 スナッチ	茅 場 武 志	石岡第一高校
7 位	ウエイトリフティング	少年男子	9 4 k g 級 スナッチ	関 根 広 大	磯原高校
7 位			9 4 k g 級 ジャーク		
7 位	馬術	少年	ダービー競技	吉 澤 彩	常総学院高校
7 位	ライフル射撃	少年女子	B R S 4 0 J W	金 澤 優 佳	竜ヶ崎第一高校
8 位	陸上競技	少年女子	やり投	宮 本 理 陽 子	筑波大学
8 位	陸上競技	少年男子 A	棒高跳	吉 川 裕 基	下妻第一高校
8 位	水泳 (競泳)	少年女子 A	背 1 0 0 m	島 添 紗 妃	常総学院高校
8 位	水泳 (飛込)	成年女子	高 飛 込	黒 羽 美 希	富士常葉大学
8 位	水泳 (飛込)	少年男子	高 飛 込	中 山 拓 弥	土浦第二高校
8 位	弓道	少年女子	遠的	米島, 保田, 中根	茨城選抜

茨城県選手団成績（天皇杯・皇后杯）第62・61・60回比較表

スキー ・ スケート ・ アイスホッケー

第 62 回 冬季大会 . . . 秋田県・群馬県・群馬県 本大会 秋田県 他
 第 61 回 冬季大会 . . . 群馬県・北海道・北海道 本大会 兵庫県 他
 第 60 回 冬季大会 . . . 岩手県・山梨県・東京都 夏・秋季大会 . . . 岡山県 他

《天皇杯得点一覧》

《皇后杯得点一覧》

	競技名	62回	61・60 比較増減	61回	60回
冬季大会	スケート	30.0	17.0	13.0	19.0
	スキー	0.0	0.0	0.0	0.0
	アイスホッケー	25.0	15.0	10.0	0.0
	競技得点小計	55.0	32.0	23.0	19.0
	参加点	30.0	・	30.0	30.0
冬季大会得点	85.0	32.0	53.0	49.0	
冬季大会順位	15位	8位	23位	25位	
本大会	陸上	28.0	10.0	18.0	47.0
	水泳	29.0	-9.0	38.0	58.0
	サッカー	—	0.0	—	0.0
	テニス	0.0	0.0	0.0	15.0
	ボート	10.0	-25.0	35.0	15.0
	ホッケー	—	—	—	—
	ボクシング	9.5	1.5	8.0	29.5
	バレーボール	—	0.0	0.0	17.5
	体操	0.0	0.0	0.0	0.0
	バスケットボール	0.0	-12.5	12.5	25.0
	レスリング	42.5	1.0	41.5	33.5
	セーリング	21.0	21.0	0.0	0.0
	ウェイトリフティング	24.0	12.0	12.0	9.0
	ハンドボール	37.5	25.0	12.5	0.0
	自転車	0.0	0.0	0.0	3.0
	ソフトテニス	0.0	0.0	0.0	0.0
	卓球	16.5	0.0	16.5	16.5
	軟式野球	32.0	8.0	24.0	80.0
	相撲	25.0	25.0	0.0	0.0
	馬術	2.0	-12.0	14.0	4.0
	フェンシング	30.0	21.0	21.0	0.0
	柔道	0.0	-24.0	24.0	41.0
	ソフトボール	—	—	—	—
	バドミントン	—	0.0	0.0	0.0
	弓道	18.0	18.0	0.0	0.0
	ライフル射撃	22.0	9.0	13.0	22.0
	剣道	27.5	-2.5	30.0	25.0
	ラグビーフットボール	—	-12.0	—	12.0
	山岳	0.0	-12.0	12.0	3.0
	カーヌー	0.0	0.0	0.0	0.0
アーチェリー	—	—	—	—	
空手道	20.5	12.0	8.5	14.0	
銃剣道	0.0	0.0	0.0	0.0	
クレー射撃	12.0	12.0	0.0	9.0	
なぎなた	0.0	0.0	0.0	0.0	
ボウリング	0.0	0.0	—	0.0	
ゴルフ	45.0	24.0	21.0	24.0	
競技得点小計	452.0	90.5	361.5	503.0	
参加点	370.0	0.0	370.0	280.0	
本大会得点	822.0	90.5	731.5	783.0	
本大会順位	28位	8位	36位	20位	
冬・本大会競技得点合計	507.0	122.5	384.5	522.0	
参加点	400.0	0.0	400.0	400.0	
総合得点	907.0	122.5	784.5	922.0	
総合順位	25位	14位	39位	26位	

	競技名	62回	61・60 比較増減	61回	60回
冬季大会	スケート	21.0	8.0	13.0	19.0
	スキー	0.0	0.0	0.0	0.0
	競技得点小計	21.0	8.0	13.0	19.0
	参加点	20.0	・	20.0	20.0
	冬季大会得点	41.0	8.0	33.0	39.0
冬季大会順位	15位	4位	19位	19位	
本大会	陸上	25.0	21.0	4.0	12.0
	水泳	9.0	-10.0	19.0	25.0
	サッカー	—	—	—	—
	テニス	0.0	0.0	0.0	0.0
	ボート	0.0	0.0	—	0.0
	ホッケー	—	—	—	—
	バレーボール	0.0	-17.5	—	17.5
	体操	0.0	0.0	0.0	0.0
	バスケットボール	—	0.0	0.0	12.5
	セーリング	0.0	0.0	0.0	0.0
	ハンドボール	12.5	12.5	0.0	0.0
	ソフトテニス	—	0.0	0.0	0.0
	卓球	16.5	0.0	16.5	16.5
	馬術	0.0	0.0	0.0	0.0
	フェンシング	—	—	—	—
	柔道	0.0	-24.0	24.0	28.5
	ソフトボール	—	—	—	—
	バドミントン	0.0	0.0	0.0	0.0
	弓道	3.0	3.0	—	—
	ライフル射撃	17.0	6.0	11.0	21.0
	剣道	15.0	-15.0	30.0	12.5
	山岳	—	0.0	—	0.0
	カーヌー	0.0	0.0	0.0	0.0
	アーチェリー	—	—	—	—
	空手道	9.5	7.0	2.5	14.0
	なぎなた	0.0	0.0	0.0	0.0
	ボウリング	—	0.0	—	0.0
	ゴルフ	0.0	0.0	0.0	0.0
	競技得点小計	107.5	0.5	107.0	159.5
	参加点	280.0	0.0	280.0	220.0
本大会得点	387.5	0.5	387.0	379.5	
本大会順位	37位	4位	41位	27位	
冬・本大会競技得点合計	128.5	8.5	120.0	178.5	
参加点	300.0	0.0	300.0	300.0	
総合得点	428.5	8.5	420.0	478.5	
総合順位	37位	3位	40位	28位	

— は関東ブロック大会不通過

本県選手団ダイジェスト①

《冬季大会・群馬県 H19/1/27～1/31》



スケート競技（スピード）
 (成年男子：1500m 1位 出島茂幸選手)
 皆様のご指導、ご声援により、優勝できることができ、嬉しく思います。この記録に甘んずることなく来年も努力いたします。(出島選手)



スケート競技（フィギュア）
 (成年女子：石田さやか選手)
 選手生活を締めくくる国体で、入賞はできませんでしたが、持ち前の集中力で、精一杯演技してくれました。(鈴木 みさ子監督)



アイスホッケー競技
 (少年男子：4位)
 初の決勝進出を狙い、優勝した北海道に激戦の末敗れ、歴史を変えることはできなかったが、選手たちは、よくやってくれた。(吉澤 忠監督)

《秋田県H19/2/10～2/13》



スキー競技：「君のハートよ位置に着け」のスローガンのもと秋田わか杉国体が開催されました。結団式において、旗手の岡田選手が安野団長から団旗を受け取る場面です。

《本大会・秋田県H19/9/29～10/9》



開会式前の恒例、激励の集いにより、角田団長を囲み勝ちどきをあげました。本県選手団が団結し、試合に臨むことができました。



ゴルフ競技（成年男子：団体第1位）館英樹、永野竜太郎、岡部大輔選手
 永野選手を中心にベストメンバーを組み、初日からのリードを最終日まで継続できた。優勝するとは思わなかったが、2人とも最高の選手、自分もキャプテンとして貢献できて嬉しく思う。(館 英樹監督兼選手)

県選手団ダイジェスト②

《本大会・秋田県H19/9/29～10/9》



レスリング競技（少年男子：フリースタイル
120 kg級第1位）森内翔馬選手
インターハイ、国体において優勝することができ、大変嬉しく思います。今後、大学に進学した後も茨城県に貢献していきたいです。（森内選手）



フェンシング競技（成年男子：サーブル団体第2位）
昨年に引き続き得点する事が出来て良かった。目標は優勝にしていたが、選手が途中怪我してしまったことが響いた。来年は必ず優勝したい。
（永野 義秀監督兼選手）



ウェイトリフティング競技
（少年男子：77 kg級スナッチ
第2位/ジャーク第2位）
加勢知寛選手
今年の国体では、トータル第2位だったので、来年の国体は優勝目指して頑張っていきたいと思います。
（加勢選手）



陸上競技
（成年女子：10000m 競歩第2位）
川崎真裕美選手
今回の結果は本当に悔しいものです。次回は優勝と日本新記録樹立をノルマに頑張ります。
（川崎選手）



空手競技
（少年女子：形第2位）
深作世里乃選手
高校最後の国体で全ての力を出し切り、第2位という結果を残せました。次は成年の部で認められるよう、一から再スタートしたいと思います。（深作選手）



水泳飛込競技
（成年女子：飛板飛込第2位）
田辺佐央理選手
最後の国体での試合と思って臨みました。良い結果が残せるとは思っていませんでしたが、2位になれてとても嬉しかったです。（田辺選手）

※写真提供：茨城新聞社

※写真提供：茨城新聞社

本県選手団ダイジェスト③ 《本大会・秋田県H19/9/29～10/9》



セーリング競技
(少年男子：セーリングスピ
リッツ級第3位)
小又友和選手・宮崎俊介選手
「新種目、白紙からのスタ
ート、失うものはない。第一
レースで勝負する。」これが合
言葉で戦った。この期待に
応えてくれた選手に感謝。
(根本 茂喜監督)

※写真提供：茨城新聞社



ボクシング競技
(少年男子：ウェルター級第
2位) 藤田孝洋選手
初めての国体で第2位になる
ことが出来ました。しかし、
2位も3位も同じだと思うの
で、優勝にこだわって行き
たいです。(藤田選手)

※写真提供：常陽新聞新社



卓球競技(成年女子：第3位)
野中由紀、馮曉雲、川村茉依選手、
今年の目標を3位入賞に決めていたの
で、目標達成できてほっとしています。来
年は、頂点を目指します。(内山 敏彦監督)

※写真提供：茨城新聞社

《国体関東ブロック大会・埼玉県H19/5/20～8/26》



バレーボール競技(成年男子9人制)
本年は、関東ブロック大会で敗退しましたが、
大分国体に向け精進したいと思います。
(森作秀裕監督)



テニス競技(成年男女)
阿久津朋、斉藤真里英、
斉藤和裕、板野俊選手
猛暑の中、選手達は、最
後まで諦めず、よく代表権
を獲得してくれました。来
年の国体入賞に向け努力い
たします。
(佐原一二 国体部会長)



馬術競技(少年：障害飛越競技) 吉澤翼選手
初出場で、標準障害飛越競技において第3位に
なることが出来てとても嬉しかったです。来年は、
絶対に姉(彩)と国体の団体障害飛越競技で優勝
します。(吉澤選手)

スポーツ安全保険



対象となる事故
グループ活動中の事故
往復中の事故

保険期間
平成19年4月1日午前0時より
翌年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成19年3月から)

1000万人のガンバリサポート!!

5
5名以上の団体
ご加入ください

加入区分・掛金・補償金額

団体	加入区分	掛金 (※)	対象範囲	保険金額				賠償責任保険 (支払限度額)	共済見舞金
				傷害保険					
				死亡	後遺障害 (等級)	入院 (日額) 実日数4日以上	通院 (日額)		
子どもの団体	A	500円	中学生以下の子どものスポーツ活動を行わない大人(高校生以上)	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人1億円 1事故5億円 財物賠償 1事故500万円(各負金額1,000円) 上記補償に身体・財物賠償合算 1事故500万円を加算	突発死 (急性心不全) (脳内出血など) 160万円
	AW子ども (中学生以下の方がご加入できます。)	1,050円	中学生以下の子どもの上記以外の個人練習、個人活動など(学校管理下を除く。)	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	1事故500万円を加算	対象となりません
	AC	1,000円	A,AWを併せて子ども(中学生以下)の指導・支援として一緒にスポーツ活動を行う大人(高校生以上)	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償 1人1億円 1事故5億円 財物賠償 1事故500万円(各負金額1,000円)	対象となりません
	C	1,500円	高校生以上の文化活動団体	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
大人の団体	A	500円	高校生以上の文化活動団体	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人1億円 1事故5億円 財物賠償 1事故500万円(各負金額1,000円)	突発死 (急性心不全) (脳内出血など) 160万円
	B	800円	老人クラブなどの団体	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	C	1,500円	高校生以上のスポーツ活動団体	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	D	9,000円	危険度の高いスポーツ活動団体	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※「子ども」とは中学生以下及び特別支援学校の児童、生徒及び幼児を、「大人」とは、高校生以上の生徒、学生、社会人などを含む。
※同一団体で1回しか加入できません。中途加入する場合、中途退会する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入れ替え、加入区分の変更はできません。
※掛金には(財)スポーツ安全協会が運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。

財団法人 スポーツ安全協会 茨城県支部

(茨城県体育協会内)

〒310-0911 水戸市見和1-356-2 茨城県水戸生涯学習センター一館 TEL 029-300-4710 電話受付時間 午前9時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

○加入依頼書は、常備銀行各支店の窓口、各市町村教育委員会にあります。

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>
●資料請求は、FAXでも受付けております。0120-104442 (FAX専用)

協賛保険会社
東京海上日動 共栄火災 損保ジャパン 大井火災 東京海上日動
日新火災 ニッセイ火災 日本興産損害 富士火災 三井住友海上
併発については東京海上日動を打倒会社として、上掲各保険会社10社との併発補償とっております。
(2007年4月現在)